

公開シンポジウム

水辺のすこやかさ指標を使ってみよう
～生きものや地域とのつながりの視点を入れて～

(社)日本水環境学会では、環境省からの請負事業を通じ、従来の“水質”や“水量”に加え、“生きもの”や“地域とのつながり”などの多様な視点から川などの水環境を見る指標「水環境健全性指標」の開発に携わってきました。本会の水環境の総合指標研究委員会では、この経験を活かし、水環境健全性指標のさらなる深化と普及の両面に取り組んできました。

本シンポジウムではまず趣旨説明として、これまでの水質保全に向けた行政の取り組み等を振り返るとともに、水辺のすこやかさ指標ができた経緯や今後の水環境保全のあり方について説明いたします。さらに環境省からは「水環境健全性指標（水辺のすこやかさ指標）」「こどもホタレンジャー事業」「全国水生生物調査」など、環境省が住民とともに取り組む身近な水環境の活動についてご紹介いただきます。その後、本委員会メンバーなどから全国各地での水辺のすこやかさ指標の実践事例を報告し、フロアでは全国各地での水辺の多様な評価に関する様々な取り組みをポスター展示いたします。

本シンポジウムは近隣の東洋大学白山第2キャンパスにて開催の第46回日本水環境学会年会事業に引き続き、年会翌日に東京大学本郷キャンパスにて開催されます。本シンポジウムを通じ、水環境の多様な評価やその活用について参加者の皆様とともに学び、考えたいと思います。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

(本事業は河川整備基金助成事業です。)

主催 (社)日本水環境学会 水環境の総合指標研究委員会
共催 東京大学大学院工学系研究科附属水環境制御研究センター

期日 2012年3月17日(土) 09:30～12:30

場所 東京大学山上会館 大会議室

(〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1, 東京大学本郷キャンパス内,

<http://www.sanjo.nc.u-tokyo.ac.jp/sanjo/contact/>)

プログラム

- ・ご挨拶 古米弘明(東京大学・院)
- ・趣旨説明 風間ふたば(山梨大学・院)
- ・身近な水環境しらべへの環境省の取り組み 西村卓也(環境省水環境課)
- ・各地での調査事例
 - ・富山の事例 安田郁子(元富山県立大学)
 - ・都内の事例 風間真理(東京都環境局)
 - ・山梨の事例 三井潔(山梨淡水生物研究会)
 - ・福岡の事例 原口公子(北九州市立大学)
- ・総合討論

参加費無料・申込み不要 直接会場へお越しください。

問合せ先 石井誠治(榊共立理化学研究所 開発部)

Fax:03-3721-0666 E-mail: ishii@kyoritsu-lab.co.jp